



## 秩父地区初の自衛隊による総合学習

埼玉地方協力本部秩父地域事務所（所長 木村3陸佐）は、令和4年7月5日（火）、埼玉県小野町立三田川小学校で、全校児童36名と教職員に対し、秩父地域において初となる「総合的な学習の時間」に対する協力を行った。

自衛隊について知る機会が今までなかったこともあり、はじめに自衛隊の任務、組織等の概要を説明した。ついで砕氷艦「しらせ」の勤務経験がある広報官が「しらせ」による南極観測支援について体験談を交えながら説明した。

高学年児童からは、総合学習の時間で勉強している地球温暖化について質問があったため、地球温暖化が南極に及ぼす影響についても説明した。また「しらせ」に関連して海上自衛隊の魅力についてもおおおいにPRしたところ、児童たちは興味をもつて話を聞いていた。

本学習は、一昨年から秩父地域の5都市の教育委員会と地域事務所が調整を重ね、実現する運びとなった。南極の氷と砂に触れるという貴重な経験をした児童、教職員の方々は、「秩父で南極の氷に触れるなんて夢にも思わなかった」「こんな素晴らしい体験を子供達にさせて頂き本当にありがとうございました」と話していた。

埼玉地本は、「今後も総合的な学習の時間への協力を通じて自衛隊についての理解促進を図るとともに、より多くの生徒に自衛隊を身近に感じてもらうよう、活動していく」としている。



## 防衛大学校説明会「私立埼玉栄高校」

自衛隊埼玉地方協力本部さいたま地域事務所（所長山本3陸佐）は、令和4年7月8日（金）私立埼玉栄高校において、高校3年生を対象に防衛大学校の説明会を実施した。

本説明会は、前段後段に区分し、前半は文系の生徒、後半は理系の生徒に対して、防衛大学校の概要説明を行った。特に、防衛大学校出身の募集課長（鳥畑2陸佐）は、受験動機や学生生活、任官後の勤務状況、将来目標等について、自身の経験を熱意を持って説明し、聴講した学生達は防衛大学校に興味・関心を持った様子であった。質疑応答では、特に女子生徒からの質問が多く、説明会後も会場で質問する生徒があり、防衛大学校に対する興味、受験意欲等の振作に寄与することができた。埼玉地本は「今後も学校訪問や説明会等を積極的に実施し、より多くの志願者獲得に向け、地本一丸となって活動していく」としている。

